



KYOTO VOGUE 2002 The Party

～着倒れ京都復活～ at 京都ホテルオークラ 暁雲の間

取材・文・撮影のトライアウト



- a.奇抜な動き、奇妙な自センスで会場の虚軽を抜いたVU LALAとシモーヌ深雪のエンターテイメント。ラストは全裸で脱ぐ場!
 b.映画「アメリ」の世界からインスピレーションを受けたパリ18区のVJをバックに、ICE CAKEはデニム地使いのファッションを展開
 c.映画「白い世界」は?「そりゃドラッグクイーンやろ」。ファッションモチのけで楽しめた家事手伝いのリュウさん
 d.洋服のリズムとも音うべきバーカッションと咲えるふうなフォーカルパフォーマンスで会場を盛り上げたユリゲン
 e.今宵のショーの裏方を務めた京都芸術デザイン専門学校のみなさん。「中は戦場でした」と終了後にカクテルで乾杯!
 f.三重高小話「Ten ten ten」の川島さん(右)と東川内さん(左)。「洋装の色調が前強になります」とオリジナルに向けて思案中!
 g.会場のオブジェを提供した新説アーティスト集団「roll」のみなさん。「たくさんの人を見てもらえてうれしい(笑)」。実は今朝が初作品

「京の着倒れ」なんて言葉は、昔から「服好きどす」
 ちゅう意味でしょう。舞妓さんの着物からSPINNSの
 コラボTまで、京都には古今のファッションが街にあふ
 れているワケ。で、その突端部分を垣間見る「KYOTO
 VOGUE」も今年で4回目。今回はパーティスタイルで
 和装・洋装の最新京都モードをいざ拝見! ウォーキング
 ではTOKUNARI、色衣の華麗なる和装とICE CAKE、
 TRANK MARYなどの洋装のセッションで、百花繚乱の
 草々しさ。400人以上のセレブ&着物姿の御大の惜しみ
 ない拍手喝采が響くなか、ドラッグクイーン達のパフォ
 ーマンス、ユリゲンのライブも続き、まさにラスベガスよろしく、のエンターテイメントショウ。春分の日の
 「春暖暁を覚えず」的ノリを一蹴する京都モードの艶や
 かさ、目が覚めたら即、オシャレしとかなきゃ!

京都の米焼酎、直。
 幻が今ここに。



小売希望価格×720ml
1430円(消費税別)

伏見の酒。その歴史は古く、日本に紹介が伝わった弥生時代に始まったといわれています。以来、無数と受け継がれてきた酒作りの伝統が安土桃山時代に花開きました。しかし、江戸幕府により米の製限を受け、経済圏に大きな轍が残出し、幕末まで生きながらて黄浦酒を続けてきたのは、たった2軒だけでした。その一軒が明治二年(一八七〇)に北川本家(北川酒造)で誕生したのが伏見の酒です。そして明治になり、伏見の酒は勢いを増す度、天下の酒業として全国に名を馳せました。これが京都の酒造北川本家が造る本格米焼酎(直すなわ)です。京都・伏見の酒類酒造の「焼酎」は珍しく、また後醍醐天皇が飲んでいました。

伏見の酒類酒造の「北川本家」で造られる酒の地酒造りが有名な伏見でよく見かけられます。伏見の酒類酒造は、伏見の天候の特徴があります。それが京都の酒類酒造北川本家が造る本格米焼酎(直すなわ)です。京都・伏見の酒類酒造の「焼酎」は珍しく、また後醍醐天皇が飲んでいました。

伏見の酒類酒造の「北川本家」で造られる酒の地酒造りが有名な伏見でよく見かけられます。伏見の酒類酒造は、伏見の天候の特徴があります。それが京都の酒類酒造北川本家が造る本格米焼酎(直すなわ)です。京都・伏見の酒類酒造の「焼酎」は珍しく、また後醍醐天皇が飲んでいました。

株式会社 北川本家